

フラッグ
いたただき

ビーチフラッグを雪の上で行う「国際スノーフラッグス選手権大会」が28日、柏崎市高柳町岡野町の市立高柳中のグラウンドで行われた一写真。幼児から大人までの約70人がフラッグに見立てたホースをめがけて冷たい雪に飛び込んで楽しんだ。

日本ビーチ文化振興協会柏崎支部が、柏崎の自然を生かしてスポーツを楽しんでもらおうと企画した。雪上に立てられたホースを先に取った方が勝ちとなるルールで、参加者は幼児から高校生以上までの5部門に分かれてホースを奪い合った。

幼児男子の部で優勝した佐々木迅ちゃん(6)は「こけそうになってもこらえて走った。予選も決勝も全部頑張った」と胸を張った。同協会柏崎支部長で、ビーチフラッグス世界選手権元世界王者の遊佐雅美さんも参加。雪に足を取られて勝てなかったが、「冬は運動の機会が少ないが、こうして楽しんでもほしい」と話していた。



白熱の争奪戦

柏崎

砂浜でバトンを取り合う「ス選手権大会」が28日、柏
ビーチフラッグスを雪上で 崎市の高柳地区で初めて開
行う「国際スノーフラッグ」 かれた。春到来を思わせる

青空の下、子どもも大人も
雪に足を取られながら激走
した。

柏崎市在住でビーチフ
ラッグス元世界王者の遊佐
雅美さん(41)が、夏の海だ

雪上を駆け抜ける国際スノー
フラッグス選手権大会の出場
者28日、柏崎市の高柳中グ
ラウンド

けでなく四季を通じた美
しい柏崎の自然を伝えたい
と企画。約70人が出場し
た。

雪の上につつふせになっ
た参加者は合図と同時に20
分先のバトンを目指して猛
然とタッシュし、最後は飛
び込んでつかんだ。途中で
長靴が脱げてしまう子ども
や、家族にいいところを見
せようと張り切るお父さん
の姿も見られた。

父がモンゴル出身のアイ
ジェム君(5)は「柏崎市は
「すごく走りにくかったけ
れど楽しかった」と笑顔だ
った。

旗、目がけ雪上の熱戦も 高柳「You・悠・遊」楽しく

市内高柳町の雪まつり「YOU・悠・遊」(実行委員会主催)が27・28日、高柳小・中周辺で行われた。大勢の家族連れが訪れ、イベントやゲームを楽しんだ。28日は第1回国際スノーフラッグス選手権大会(日本ビーチ文化振興協



初開催の国際スノーフラッグス大会で旗に向かって全力疾走する子どもたち＝28日、高柳中グラウンド

会柏崎支部主催)も同時開催され、雪上の熱戦を繰り広げた。

実行委員長は「今年は少雪で一時開催が危ぶまれたが、無事この日を迎えることができた。参加した全員

から元気をもらえるイベントにしたい」とあいさつ。恒例の巨大餅つきには大勢が列を作り、大きな掛け

声で力を合わせ、きねに結びつけた綱を引いた。市内上輪新田の中村ヨシさん(64)は「初めて来たが、たくさんの人でにぎわい、活気がある」と言い、孫の風ちゃん(6)は「生懸命綱を引いた。きなこ餅が大好き」とこ機嫌だった。

会場には、モンゴルの伝統的な移動式住居「ゲル」が設置され、新潟産大の留学生がひき肉と野菜を小麦粉の生地で包んで焼いた「モンゴル焼き」などを振る舞った。同大2年・ウリハンさん(19)は「モンゴルではいつも食べている料理。お客さんからおいしいと言ってもらえてうれしい」と話した。

スノーフラッグス選手権大会は幼児から大人まで約70人が5部門に参加。雪まみれになりながら、旗に向かって疾走した。幼児の部で優勝した市内半田1の佐々木迅ちゃん(6)は「雪遊びが大好き。走るのは大変だったけど楽しかった」、中学生の部で準優勝の兄の蓮君(鏡が沖中2年)は「ス

タートダッシュがうまくいった」とっこり。父親がモンゴル出身のアイジエムちゃん(5)は「雪の中を走るの初めて。準優勝できたので保育園のみんなに自慢したい」と話した。

市内のライフセーバーで同支部長の遊佐雅美さん(41)は「柏崎の自然を生かしたスポーツを楽しんでもらおうと企画した。第2回、第3回と開催できたといい」と語った。



雪上を力走 ホース奪取 ■柏崎

砂浜でホースを奪い合うビーチフラッグス競技を雪の上で試みる国際スノーフラッグス選手権大会が28日、柏崎市の市立高柳中学校でひらかれた。恒例の高柳雪まつりにあわせて、NPO法人・日本ビーチ文化振興協会柏崎支部が企画した。

中学校のグラウンドの積雪を砂浜に見立て、スタートラインから20メートル短いホースをさす。ゴールと反対向きにうつぶせになった参加者は、笛の合図で起き上がった雪上を走る。ホー

スを先に奪い取った者が勝ち残る。

ビーチフラッグス世界選手権で4回優勝した柏崎支部長、遊佐雅美さん(42)は「柏崎の自然を楽しむ機会を少しでもふやそうと思いついた。田植え前の田んぼを会場にしたどろんこフラッグスも計画したい」という。

競技は年齢層別でひらかれ、中学男子の部では高柳中2年の矢代響(なづな)さんが優勝した。「雪の上を長靴で必死に走るの予想以上に疲れる。でも、スキーとは違ったおもしろさがある。来年も挑戦したい」(渥美好司)